

会議シナリオ

会議の名称	令和7年度 第4回佐渡市行政改革推進委員会
開催日時	令和8年3月27日(金) 10:00~11:00
場所	佐渡市役所第1庁舎 1-205 会議室
会議内容	<p>式次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 今本会長</p> <p>3 報告事項</p> <p>1) 持続可能な行政運営大綱の答申内容について</p> <p>2) 持続可能な行政運営プラン(取組事項シート)について</p> <p>4 閉会</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>≪行政改革推進委員≫(5名)</p> <p>今本 啓介、成澤 直樹、西尾 真治、野口 忍、本間 和幸</p> <p>≪事務局≫(4名)</p> <p>総務課長 谷川 直樹</p> <p>総務課長補佐 金子 一生</p> <p>総務課行革推進係 係長 熊谷 知樹</p> <p>主事 頓宮 浩明</p>
会議資料	<p>資料1-1 答申書(案)</p> <p>資料1-2 持続可能な行政運営大綱(案)</p> <p>資料2 持続可能な行政運営プラン(取組事項シート)</p>
傍聴人の数	0人
備考	
会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
熊谷係長	次第1 開会
今本会長	次第2 会長あいさつ
A委員	<p>それでは、第4回佐渡市行政改革推進委員会の議事に入ります。</p> <p>報告事項1 持続可能な行政運営大綱の答申案について、事務局より説明をお願いします。</p>
頓宮主事	資料1-1と資料1-2の説明
B委員	資料を事前に確認させていただいたところ、これまでの委員会における意見が反映されていて良いと思います。言葉の使い方でご気になった点が、最後にご

	説明いただいた「国県などの補助制度の活用など積極的な財源確保の徹底」という部分ですが、「積極的な財源確保」はどういった意味か疑問です。また、「徹底する」という言い方もできるのか疑問であって、「積極的な財源確保」と「徹底」という言葉に若干違和感がありましたので、ご質問させていただきたいと思います。
熊谷係長	現計画からそのまま引用させていただいたものです。事業を実施する際に、一般財源だけではなく国や県の補助制度も活用しながら、佐渡市がやりたいことに対して負担を減らすための財源確保をしていくという意味で、この言葉を用いました。
C 委員	「財源確保に向けた積極的な情報収集の徹底」というような表現でいかがでしょうか。
A 委員	「徹底」は外す方向でどうでしょうか。では、そのように修正させていただきたいと思います。
D 委員	1 ページ目の部分についてです。最初の「本市の状況」のところ、以前は「佐渡の魅力を活かした地域産業」と書かれていて、その後「世界文化遺産を活かし、交流人口拡大」となっていますが、世界文化遺産も3年目に入り、今後を考えると、佐渡の魅力全体を活かすという視点が必要ではないでしょうか。「世界文化遺産をはじめとした佐渡の魅力を活かす」と修正していただけますか。そのほうが長期的な計画の観点から、文化遺産だけでなく他の魅力も含めた視点が示されるのではないかと思います。
熊谷係長	「世界文化遺産をはじめとした佐渡の魅力を活かす」に修正させていただきます。
D 委員	その下の「近年の人事院勧告」という部分ですが、最低賃金の引き上げなど人件費増加の要因として説明することが適さないのではないのでしょうか。
金子課長補佐	当初の計画では職員数を50人削減予定でしたが、実際にはそれを上回る人数を削減している中で、最低賃金の引き上げにより、職員給与も上がらざるを得ない状況があります。
C 委員	「近年の人事院勧告」ではなく、「昨今の社会情勢の変化により」というような、より広い視点での表現に変更してはいかがでしょうか。最低賃金の引き上げだけでなく、物価上昇など他の要因も含めて表現できます。
A 委員	こちらの方で修正を施していただき、ご了承いただけますか。
一同	(異議なし)
A 委員	それでは、報告事項2として「現計画取組事項の委員会意見のまとめ」について、事務局から説明をお願いします。
頓宮主事	資料2の説明
A 委員	2つ目の内容についてですが、「取り組みを進めてください」という表現が、意見としてどうなのでしょう。前のほうでは「検討すべきである」という書き方をしていたので、「実現できるよう努めるべきである」という表現のほう

	が良いのではないのでしょうか。
B 委員	マイナンバーカードの利用も含めて、担当課の方向性として記載されている「最適な解決策を追求する」という方向性になるかと思います。ただ、ここで気になるのが、この取組自体が令和8年度まで「検討」という段階が続いているということです。4年間ずっと検討し続けるというのは問題がないのでしょうか。行革の取組として項目にあげるのであれば、いつまでに実現するという時期を明確にすべきではないのでしょうか。単に「検討する」ではなく、「スピード感を持って進める」というような表現を加えてはいかがでしょうか。
金子課長補佐	スピード感を持って進めるべきというご意見を反映させた形で修正させていただきます。
D 委員	基金についてですが、報道であった激甚災害の件で加算されたという事例がありました。これは金額が増えたのか、それとも借金の話か教えてください。
谷川課長	激甚災害が適用されると通常9割程度が負担されますが、その後さらに追加で交付されるよう記憶しています。ただ、この資料ではそこまで反映されていません。
A 委員	その他よろしいのでしょうか。では、ご指摘の点を修正していただき、正式としていただきたいと思います。これで第4回佐渡市行政改革推進委員会を終了します。